

福井県の県政ビジョンと 財政運営



福井しあわせ元気国体 2018
福井しあわせ元気大会 2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

平成30年3月 福井県

幸せ度
いちばん
福井県

福井県の県政ビジョンと財政運営 目次

1. 福井県の概要

(1) 福井県？	3
(2) 福井藩士由利公正	4
(3) 「恐竜王国福井」	5
(4) 「福井県のすがた」	6
(5) 福井県の主な観光地	7
(6) 「幸福度日本一」	8
(7) 県内総生産の構成内訳	9
(8) 「実は福井の技」	10

2. 福井県の県政ビジョンと重要課題

北陸新幹線	12
高速道路の整備	14
明治150年記念第73回国民体育大会	16

3. 福井県の財政運営

(1) 平成29年度当初予算の規模	17
(2) 平成29年度当初予算編成の重点ポイント	18
(3) 福井県普通会計歳出決算の推移	19
(4) 平成29年度福井県当初予算(一般会計)歳入	20
(5) 福井県普通会計歳入決算の推移	21
(6) 原子力発電関連税収等の推移	22

(7) 原子力発電に関する国の方針	23
(8) 原子力発電に関する福井県の現状	24
(9) 核燃料税の見直し	25
(10) 財政健全化法における財政指標	26
(11) 地方債残高の状況	27
(12) 減債基金への積立状況について	28
(13) 財政調整基金等の残高	29
(14) 企業会計等の財政状況	30
(15) 出資団体の改革状況	31

4. 行財政改革の実施

(1) 第四次行財政改革実行プラン	33
(2) 第四次行財政改革実行プランにおける 財政指標の目標	34
(3) 第三次行財政改革実行プランの成果	35

5. 福井県債のご紹介

(1) 市場公募債の発行状況	37
(2) 平成29年度の市場公募債発行計画	38
(3) 平成29年度市場公募債発行のご紹介	39

福井県債に関するお問い合わせ先	40
-----------------	----

1. 福井県の概要

(1) 福井県？



9月23日
発売開始!!



11月6日
解禁!!

(2) 福井藩士由利公正



ゆ り き み ま さ

由利公正

(1829~1909)

由利公正の主な功績

■ 五箇条の御誓文の起草

■ 太政官札の発行

我が国最初の全国通用紙幣、太政官札の発行を建議し、明治元年4月から明治2年5月まで発行する。これにより明治政府の殖産興業諸改革の莫大な費用は賄われ、国家経済は成長路線に乗り、廃藩置県や地租改正も可能になった。太政官札は本県の越前和紙で発行された。

■ 殖産興業政策の推進

■ 東京不燃化計画の策定・実行

■ 民撰議院設立の建白

(3)「恐竜王国福井」



福井県立恐竜博物館



JR福井駅



小松空港

写真:小松空港HPより

(4) 福井県のすがた

人口

786,740人

(全国43位)
平成27年国勢調査

面積

4190.49km²

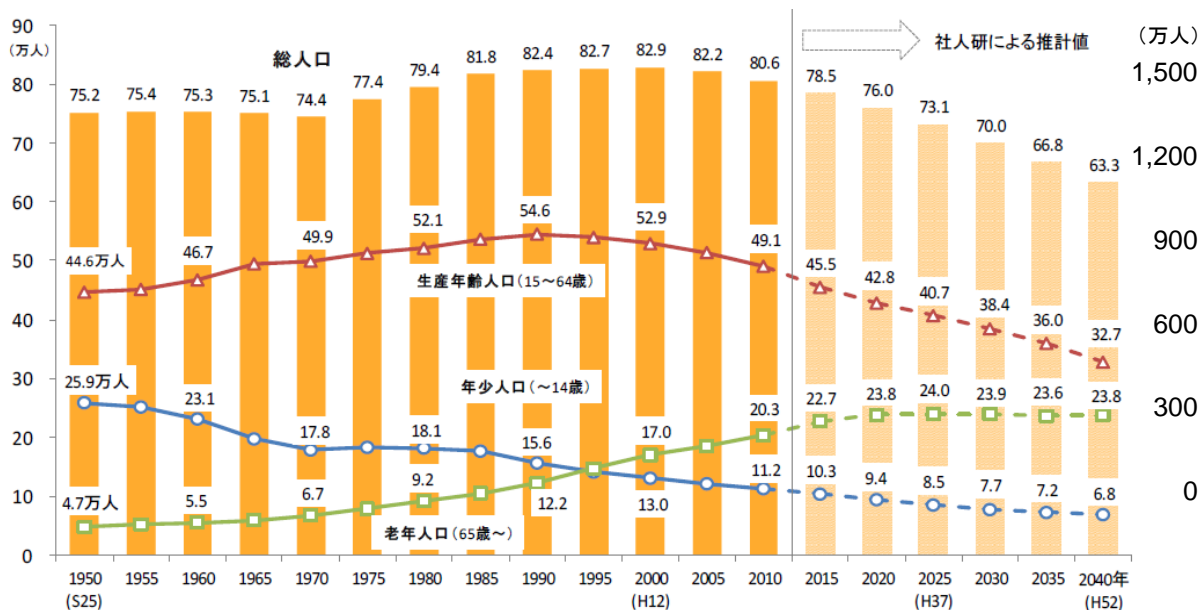
(全国34位)
平成27年度全国都道府県市区町村別面積調

県内総生産

3兆1,300億円

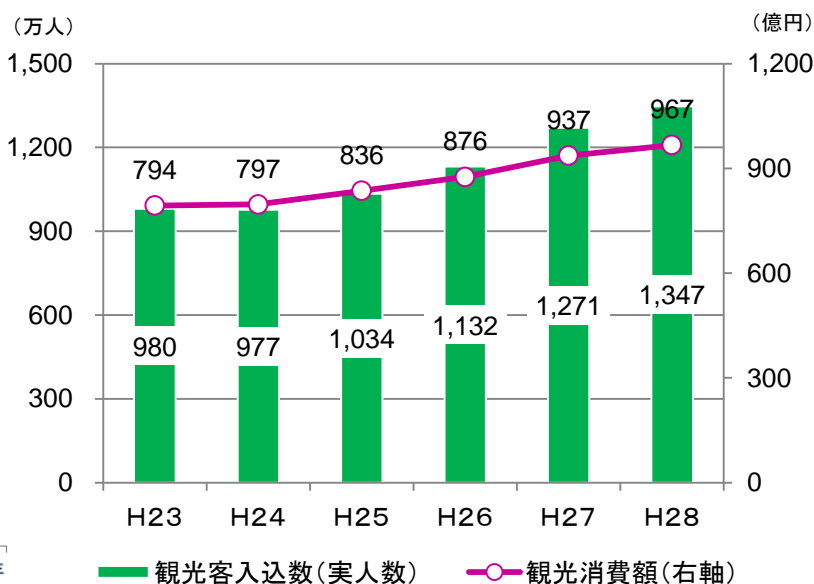
(全国41位)
平成26年度内閣府県民経済計算

福井県の総人口の推移




出典: 国勢調査、社人研推計より県作成

観光客入込数と観光消費額の推移



出典: 「平成28年福井県観光客入込数(推計)」

(5) 福井県の主な観光地



7万年の「世界標準ものさし」
水月湖「年縞」

世界三大奇勝「東尋坊」

入館者年間90万人 世界三大恐竜博物館
「福井県立恐竜博物館」

「三方五湖」

日本の最も美しい場所31選
(2015CNNウェブ特集)
「蘇洞門」

天空の城「越前大野城」

特別史跡・特別名勝・重要文化財
国の三重指定
「一乗谷朝倉氏遺跡」

北陸のハワイ「水島」

日本遺産
若狭鯖街道「熊川宿」

(6)「幸福度日本一」

■ 2016年版全47都道府県幸福度ランキング(日本総合研究所)において総合1位を獲得

充実した子育て環境

- 合計特殊出生率 1.65(全国7位)
- 三世帯世帯割合 15.0%(全国2位)
- 待機児童数 0人(全国1位)
- 学力体力10年連続全国トップクラス

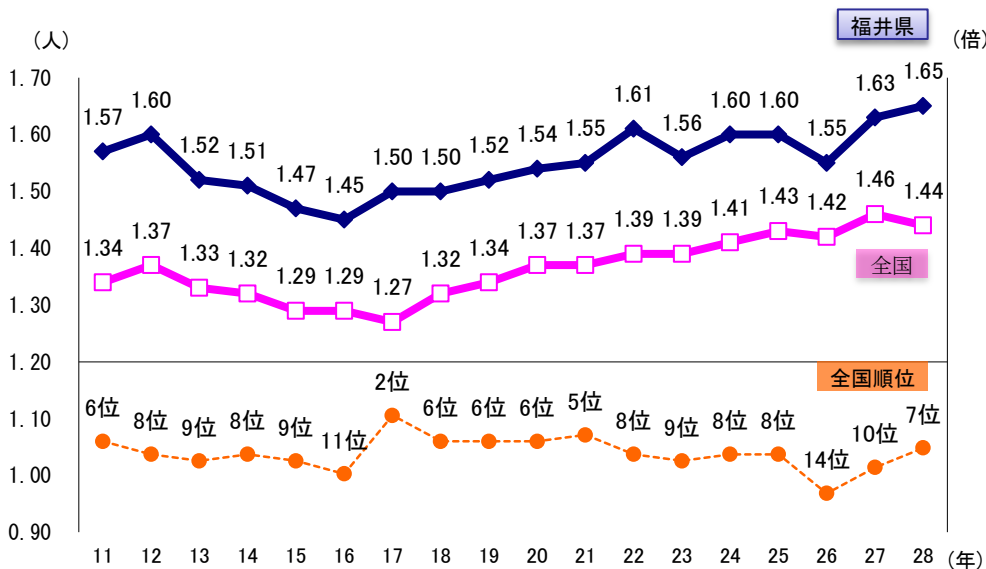
ゆとりある生活環境

- 共働き率 58.6%(全国1位)
- 貯蓄現在高 18,562千円(全国3位)
- 持ち家比率 76.5%(全国4位)
- 平均寿命 男性3位、女性7位

安定した雇用環境

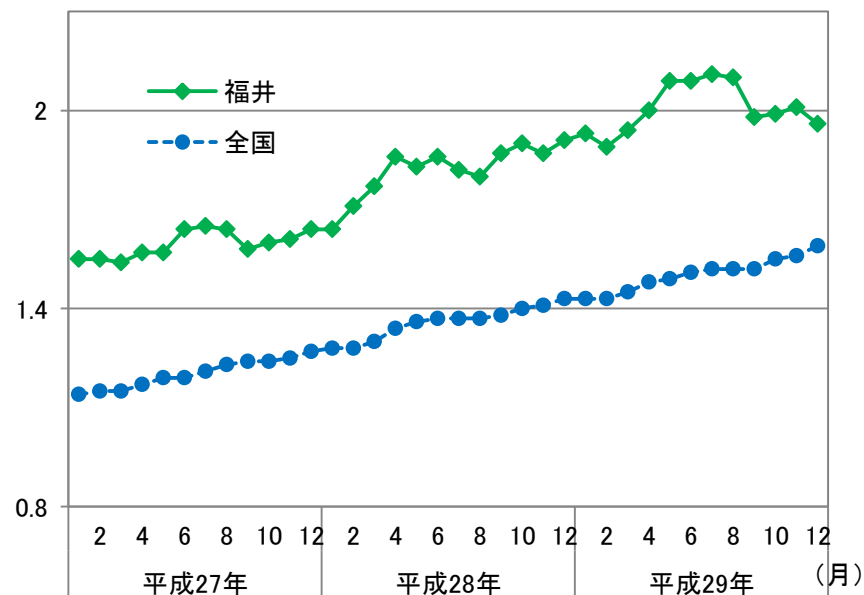
- 社長輩出率(35年連続全国1位)
- 完全失業率 1.9%(全国2位)
- 有効求人倍率 1.96倍(全国3位)

合計特殊出生率と全国順位の推移



出典:人口動態統計

有効求人倍率 全国上位



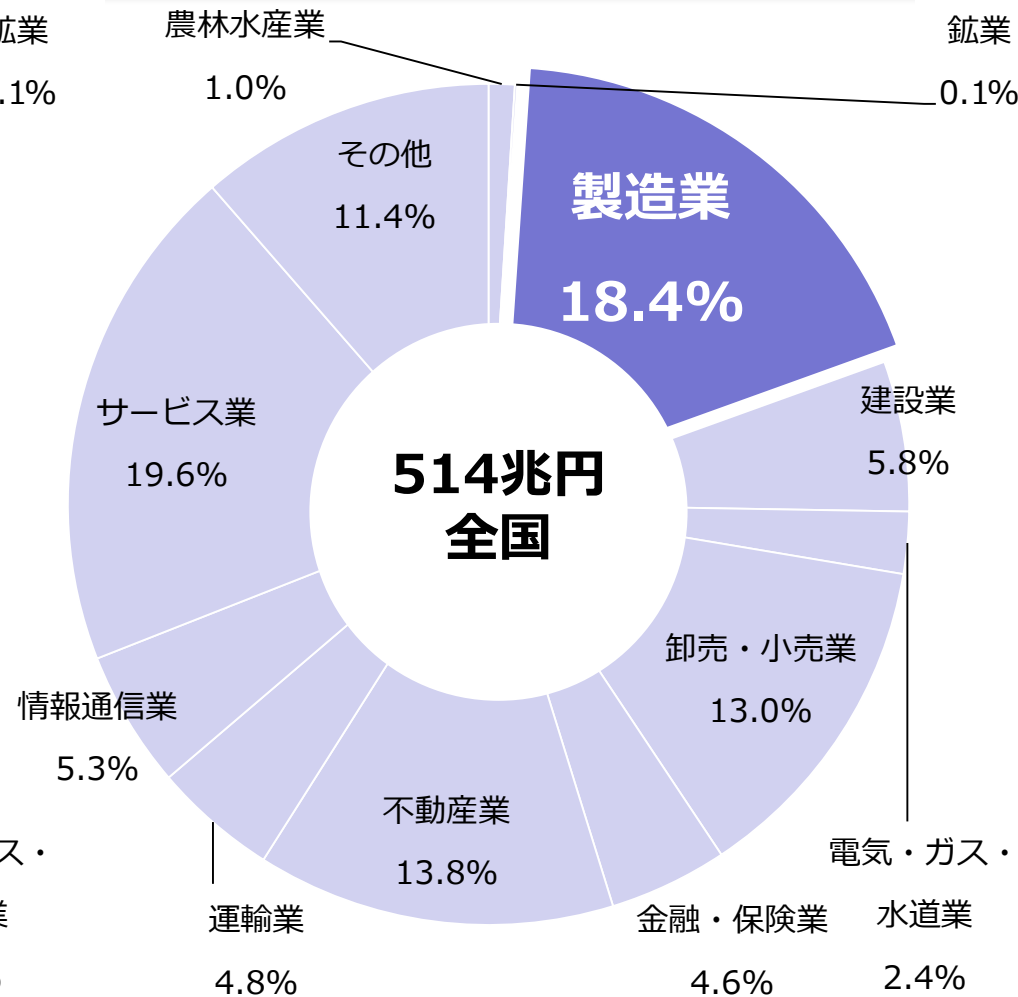
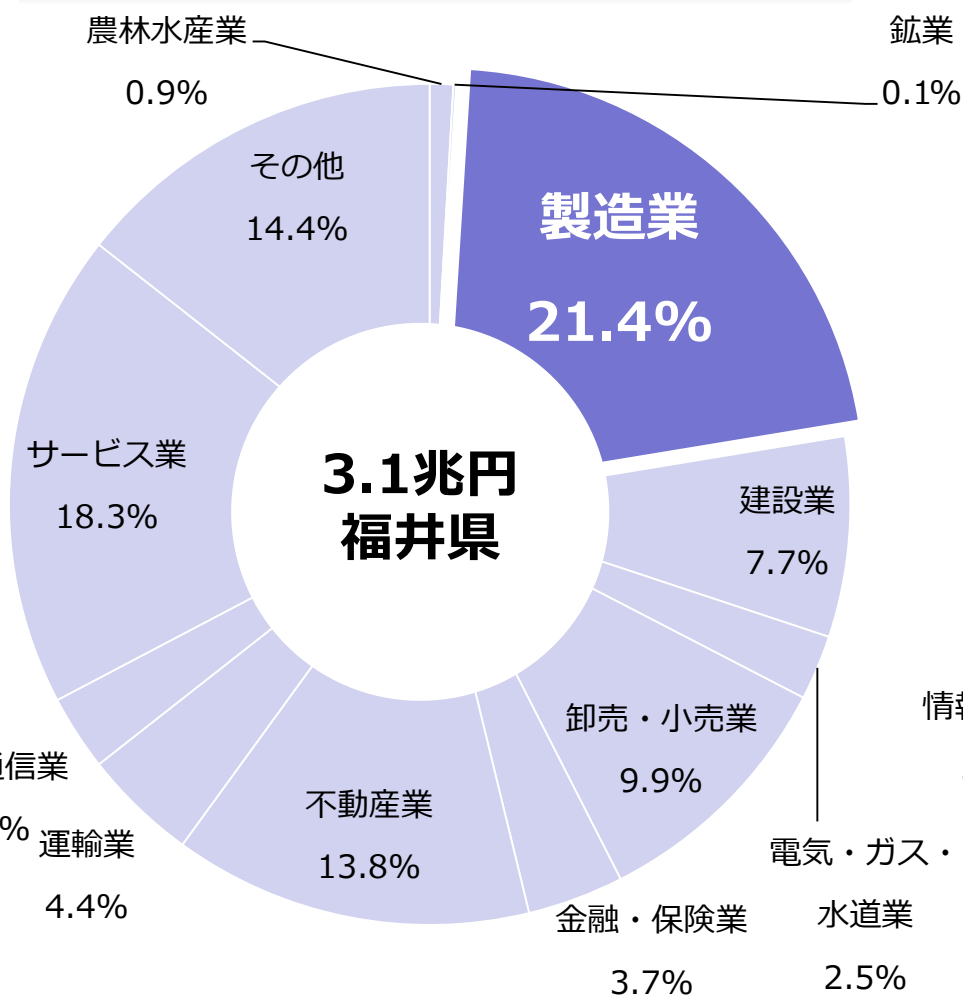
出典:福井労働局「雇用失業情勢」

(7) 県内総生産の構成内訳

- 県内総生産に占める製造業の割合が2割を超え、本県は全国に比べ製造業を中心とした産業構成となっています。

福井県の県内総生産の構成内訳（平成26年度）

全国の県内総生産の構成内訳（平成26年度）



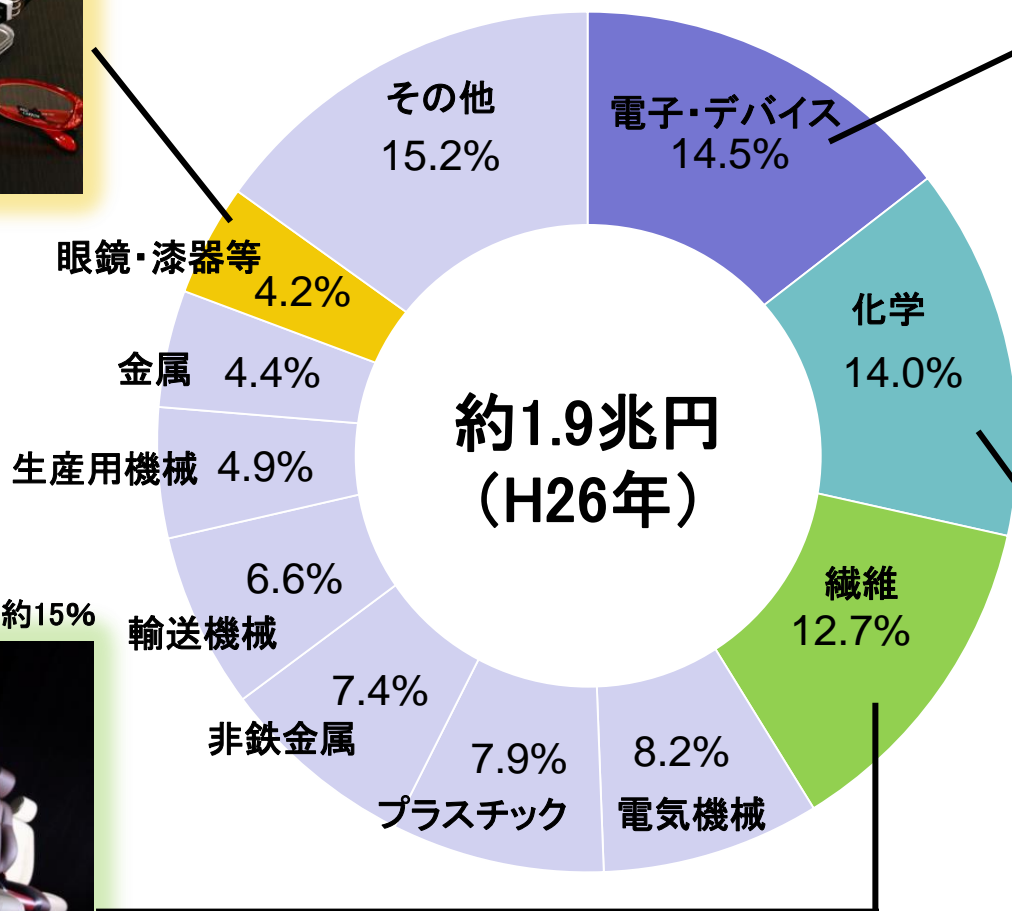
(8)「実は福井の技！」

国内シェア1位 国内シェア96%

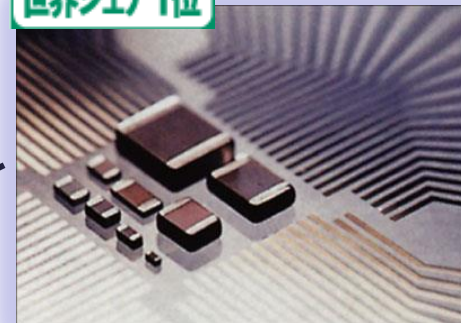


【眼鏡フレーム】

製造品出荷額等（従業員4人以上の事業所）



世界シェア1位 世界シェア約35%



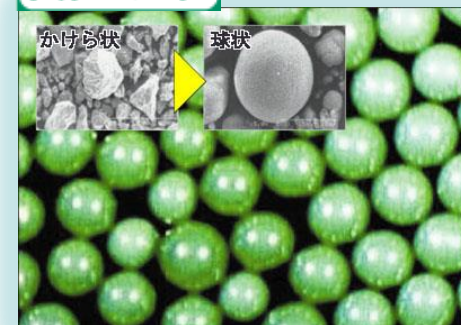
【積層セラミックコンデンサ】
（株）福井村田製作所

世界シェア1位 世界シェア約15%



【カーシート生地】
セーレン(株)

世界シェア1位 世界シェア約70%



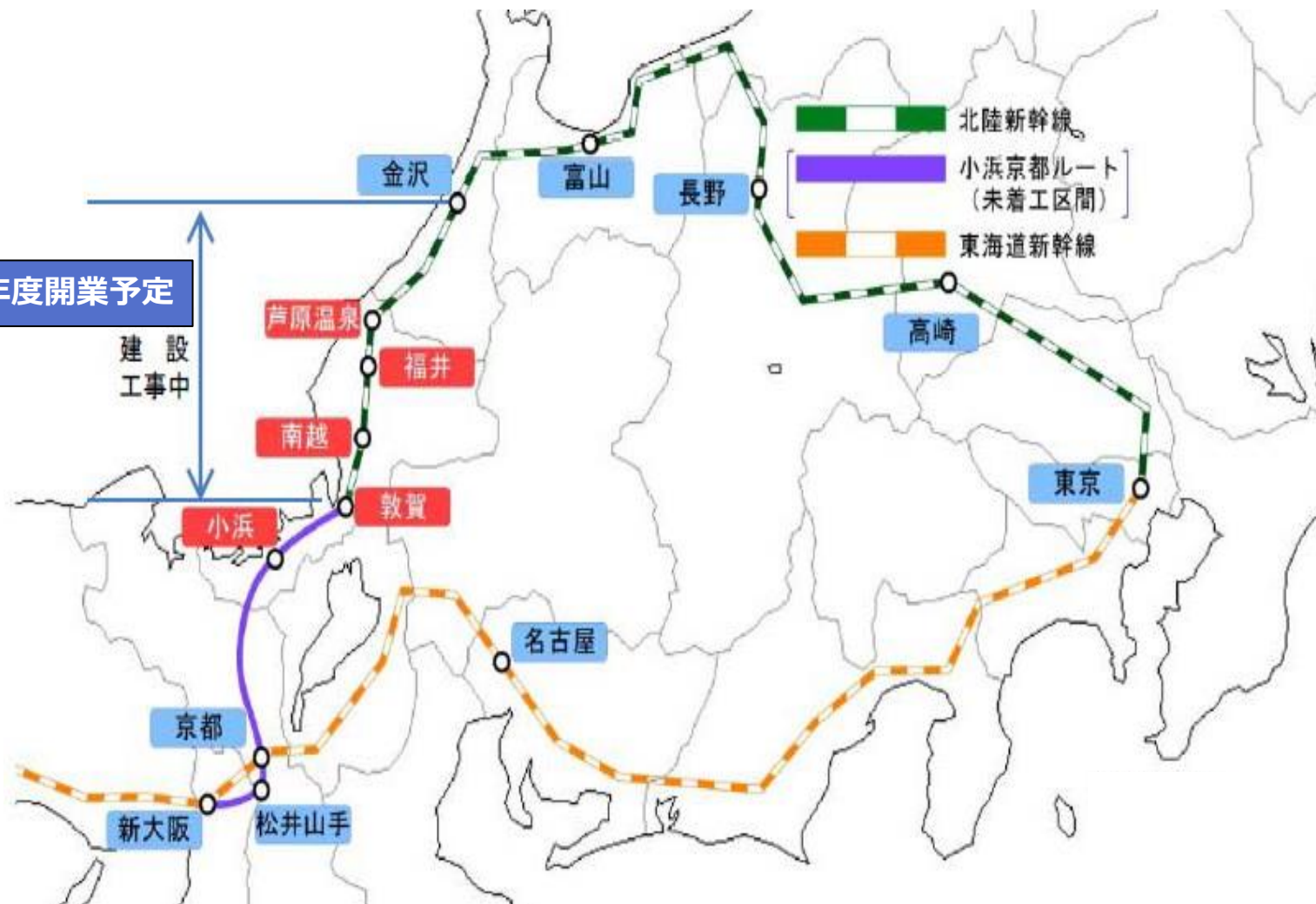
【ニッケル水素蓄電池材料】
（株）田中化学研究所

出典：福井県政策統計・情報課「福井県の工業」

2. 福井県の県政ビジョンと重要課題

北陸新幹線 ～敦賀以西は、小浜京都ルートに決定！～

- 平成29年3月15日、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームが、敦賀以西のルートを「敦賀駅－小浜市(東小浜)附近－京都駅－京田辺市(松井山手)附近－新大阪駅」を結ぶルートに決定しました。



平成34年度開業予定

建設
工事中

北陸新幹線
小浜京都ルート
(未着工区間)
東海道新幹線

北陸新幹線の開通効果と事業費

全線開業後の所要時間

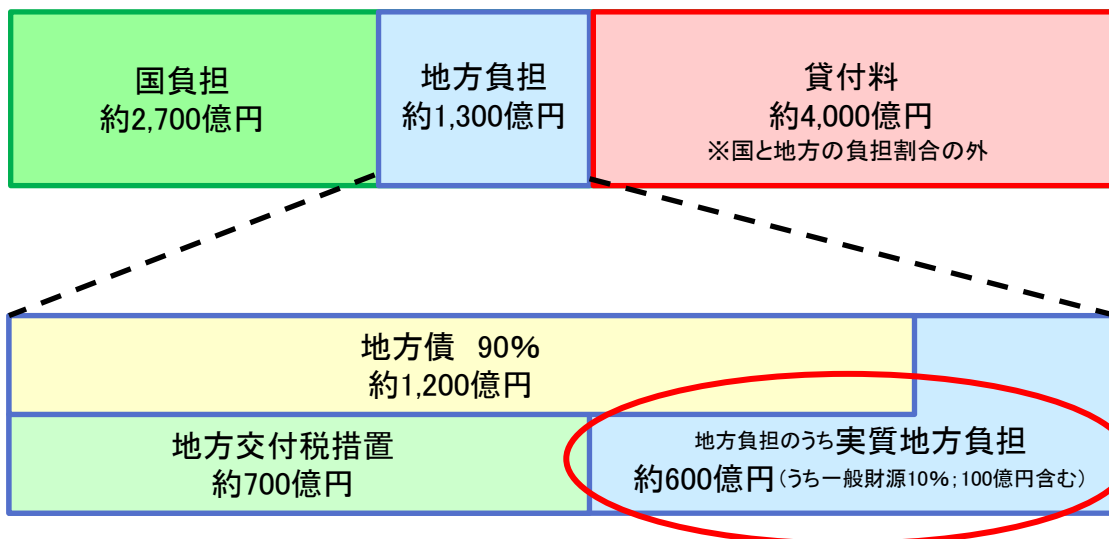
※所要時間は想定値であり、開業後の運行ダイヤはJRが決定する。

行先	小浜 発		福井 発	
	現状	整備後	現状	整備後
東京	4:12	3:37 35分短縮	3:25	2:53 32分短縮
京都	2:00	0:19 1時間41分短縮	1:20	0:40 40分短縮
新大阪	2:23	0:38 1時間45分短縮	1:43	0:55 48分短縮

金沢・敦賀間の建設費負担

※総事業費約1兆1,858億円の場合

福井県内区間事業費 約8,000億円 (実質県負担 約600億円)



敦賀開業による経済波及効果

H24.11北陸経済連合会調査

◆経済波及効果

北陸全体

約800億円/年

うち福井県分

約210億円/年

◆雇用創出効果

北陸全体

約7,200人分/年

うち福井県分

約1,900人分/年

高速道路の整備 ～中部縦貫自動車道の福井・大野間が全通～

中部縦貫自動車道

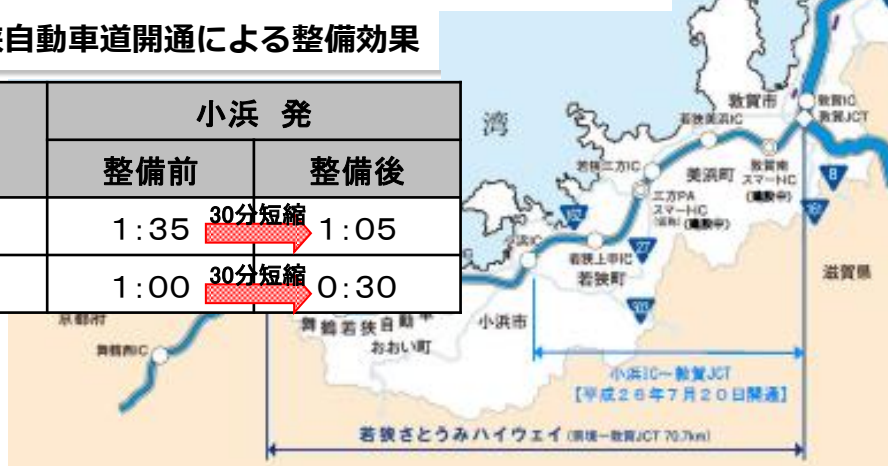
- 福井→岐阜・高山→長野・松本に至る全長約160km(H元. 8月～)
- 福井県内区間の総事業費は約2,800億円(大野・油坂間の事業費は約1,500億円)
- 東海北陸、北陸、名神自動車道と一体となった環状ネットワークを形成
- H29. 7月に永平寺IC～上志比IC間が開通
- 目標はH34年度までの県内全線開通

舞鶴若狭自動車道(通称:若狭さとうみハイウェイ)

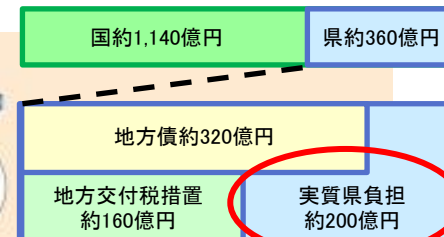
- 福井県の西の玄関口
- 人流・物流の新しい大動脈に
- 26年7月に敦賀・小浜間が開通し全線開通

舞鶴若狭自動車道開通による整備効果

行先	小浜 発	
	整備前	整備後
福井	1:35	30分短縮 1:05
敦賀	1:00	30分短縮 0:30



大野・油坂間の建設費負担



中部縦貫自動車道開通による整備効果

行先	大野 発	
	現状	整備後
名古屋	2:30	20分短縮 2:10



明治150年記念第73回国民体育大会

- 平成30年の国体・障害者スポーツ大会開催に向けて、県内では県民一丸となって準備を進めています。
- 本県での開催は、「明治100年記念 第23回国民体育大会」以来、50年ぶりとなります。



第73回 国民体育大会

福井しあわせ元気国体

織りなそう 力と技と美しさ →

2018.09.29 (土) ~ **10.09** (火)

あと 日



第18回 全国障害者スポーツ大会

福井しあわせ元気大会

織りなそう 力と技と美しさ →

2018.10.13 (土) ~ **10.15** (月)

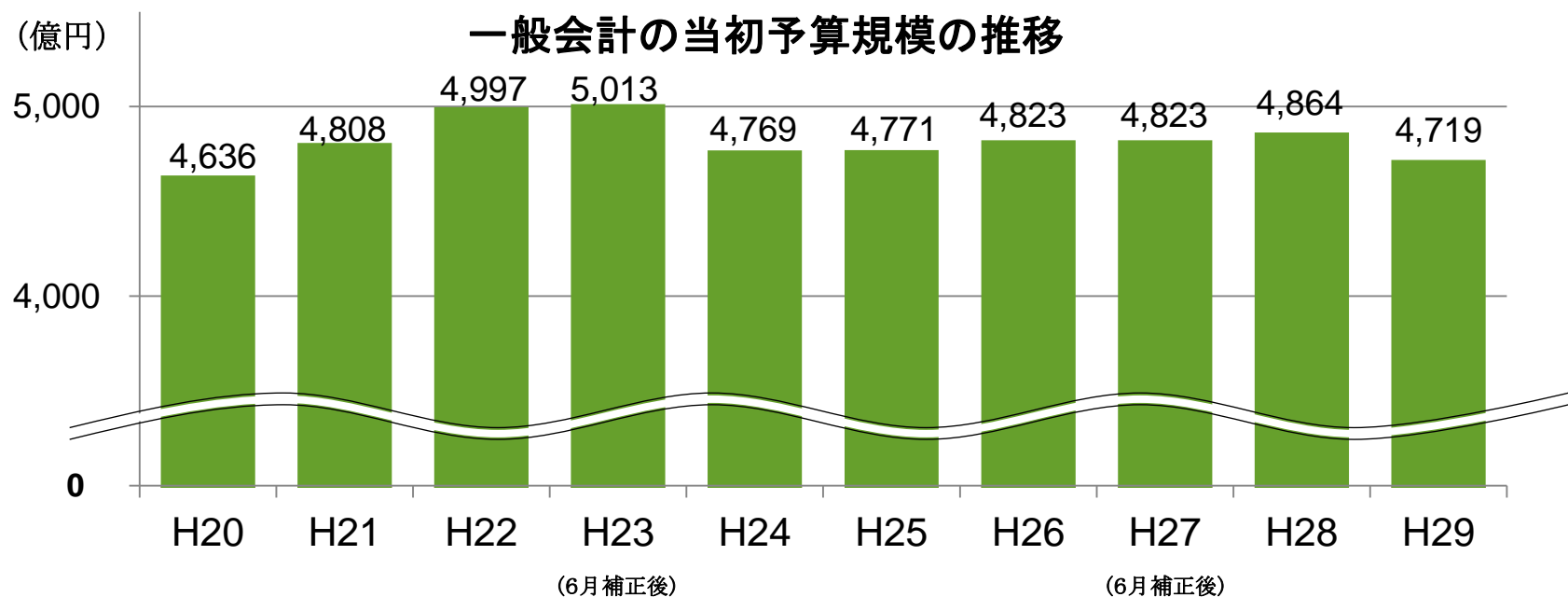
あと 日

3. 福井県の財政運営

(1) 平成29年度当初予算の規模

◎ 一般会計の予算規模 **4,719億円** (対前年度比3.0%減)

会計	29年度 当初予算案 (億円)①	28年度 当初予算 (億円)②	伸び率 (%) ①/②
一般会計	4,719	4,864	△3.0
特別会計	181	151	20.1
企業会計	362	369	△1.9
計	5,262	5,384	△2.3



(2) 平成29年度当初予算編成の重点ポイント

『 東西南北の交流促進 』

北陸新幹線の敦賀開業や小浜京都ルート決定、中部縦貫自動車道永平寺大野道路の開通などにより本県を取り巻く交流環境は大きく変化する。

今後、東西南北の4つのゲートをオープン化し、既存の人口減少対策にとどまることなく、県外や海外にも目を向けた交流新時代の実現を図る。

(4つのゲート)

- ・ 東：大野・勝山から岐阜など中京へ
- ・ 西：小浜（若狭）から京都など関西へ
- ・ 南：敦賀から滋賀など中京・関西へ
- ・ 北：あわら・坂井から石川など北陸・関東へ

◆ 高速交通体系の整備

北陸新幹線建設事業（事業費871億円、対前年7割増）	174億円
中部縦貫自動車道整備事業（事業費113億円、対前年5割増）	28億円
高速交通開通アクション・プログラム・ステップアップ事業	4,428千円

◆ 定住人口、交流人口の拡大

東西南北のオープンゲートを通じ人の行き来を活発化し、定住人口、交流人口を拡大する。

○人口減少対策の充実

学生U・Iターン奨学金返還支援事業	43,715千円
ふくいワークキャンプ推進事業	36,129千円
30歳の成人式開催支援事業	3,683千円
子育て世帯と移住者への住まい支援事業	5,500千円
幸福ふくいロングステイ推進事業	12,191千円

○海外市場・海外人材の獲得

アジア市場への食の輸出拡大事業	26,908千円
小松空港国際定期路線開拓推進事業	3,744千円
海外クルーズ客船おもてなし事業	15,138千円
国際ビジネス人材育成支援事業	5,330千円
留学生県内就職支援事業	2,298千円
国際交流団体活動促進事業	1,402千円

◆ 魅力発信の強化

県内のみならず近隣府県とも連携し、本県の新たな魅力を創出する。

○ふくいブランドの磨き上げ

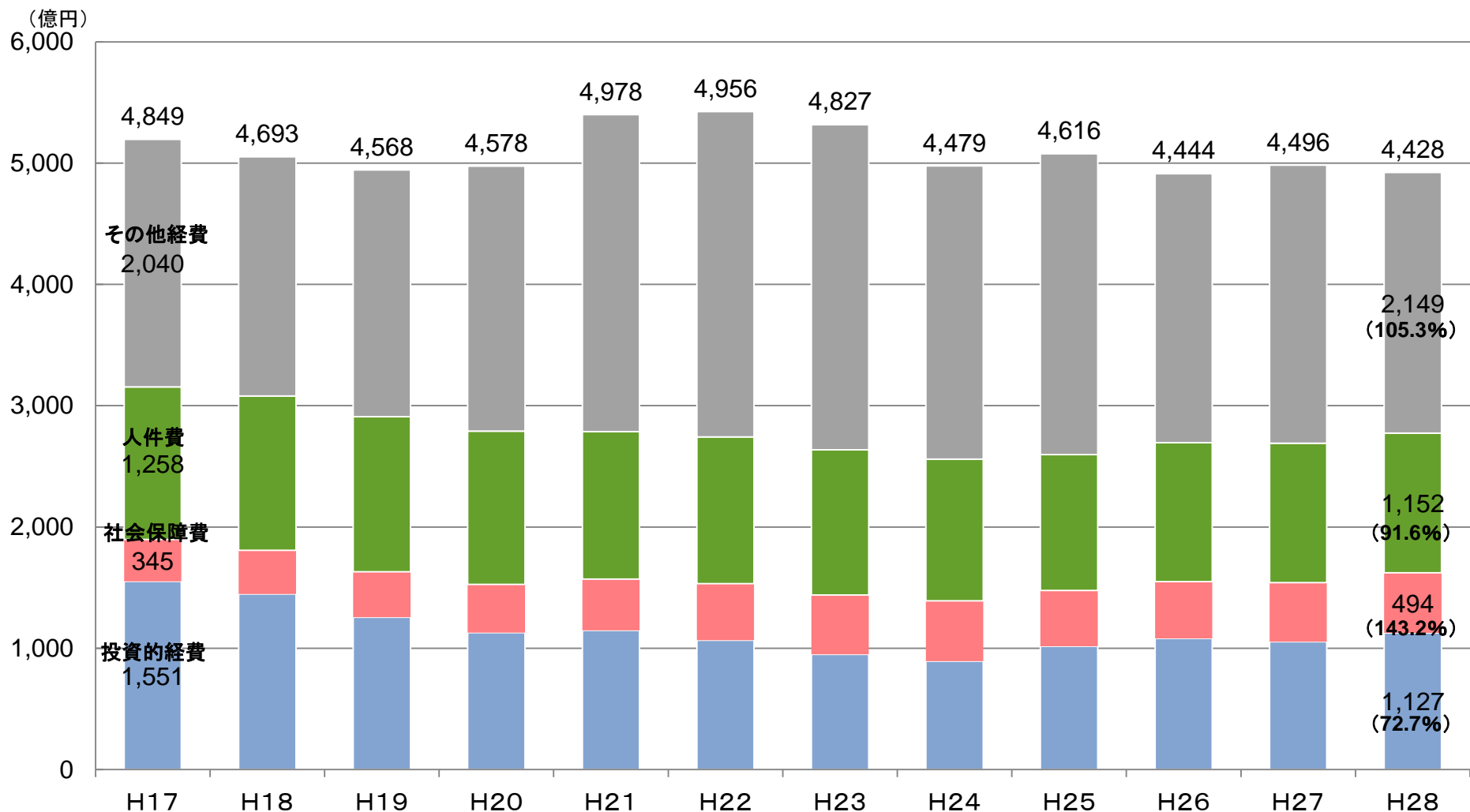
幸福ふくい情報交流促進事業	23,298千円
「ポストこしひかり」ブランド化事業	140,000千円
本県固有の歴史・自然史資源の活用	
日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業	199,780千円
幕末明治福井150年博（仮称）開催準備事業	13,499千円
「年縞」活用推進事業	648,206千円
第2恐竜博物館整備検討事業	8,988千円
福井を舞台とした映画等誘致事業	制度創設

○近隣府県連携による交流・観光プロジェクト

泰澄白山開山一千三百年記念事業【石川、岐阜】	17,591千円
国際工芸サミット（仮称）開催事業【石川、富山】	8,000千円
福井・滋賀・京都観光連携事業【滋賀・京都】	1,000千円
「御食国・和食の祭典」開催事業【兵庫、三重、京都】	1,000千円

(3) 福井県普通会計歳出決算の推移

- 義務的経費に占める社会保障関係経費割合が増加
- 人件費や投資的経費の抑制により、歳出抑制努力を継続

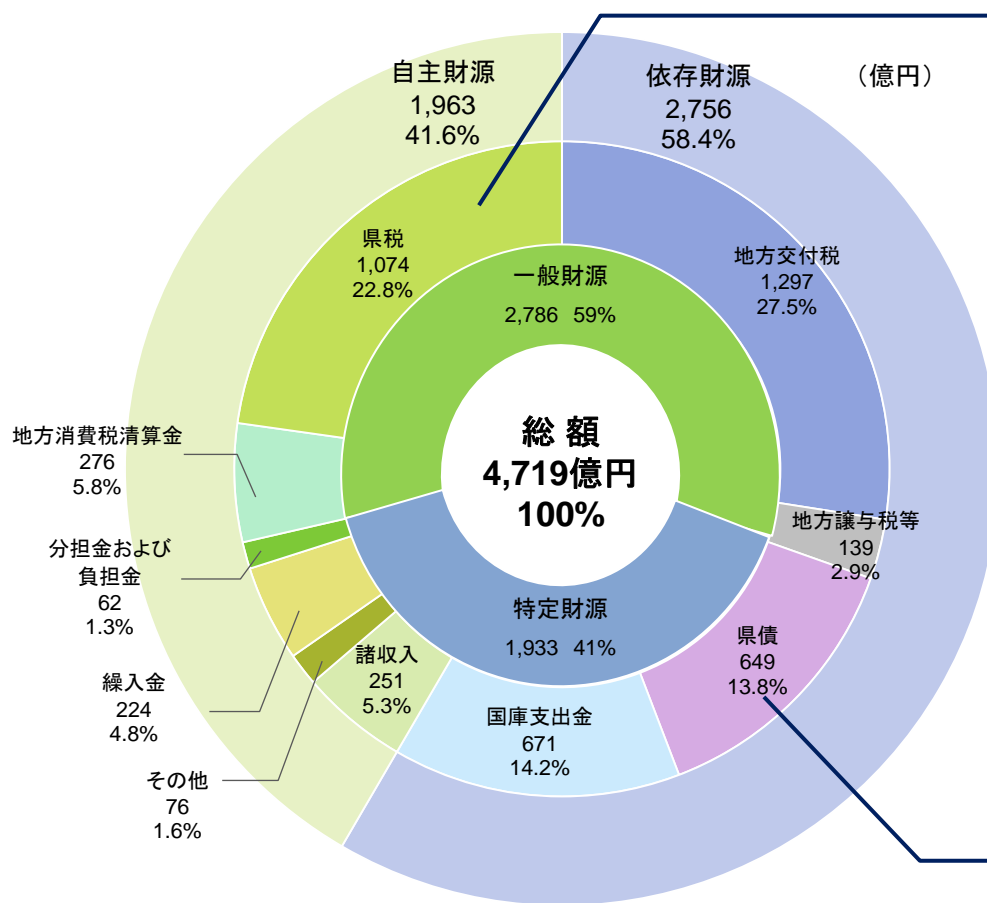


()内は対H17比

(4) 平成29年度福井県当初予算(一般会計)歳入

■ 一般会計予算総額は、4,719億円に対前年度比3.0%減

歳入



県税の主なもの ()内は昨年度比

- ・個人県民税 263億円(+3億円)
- ・法人二税 274億円(Δ 20億円)
- ・地方消費税 186億円(Δ8億円)

うち原子力発電関係歳入 計326億円(歳入の6.9%)

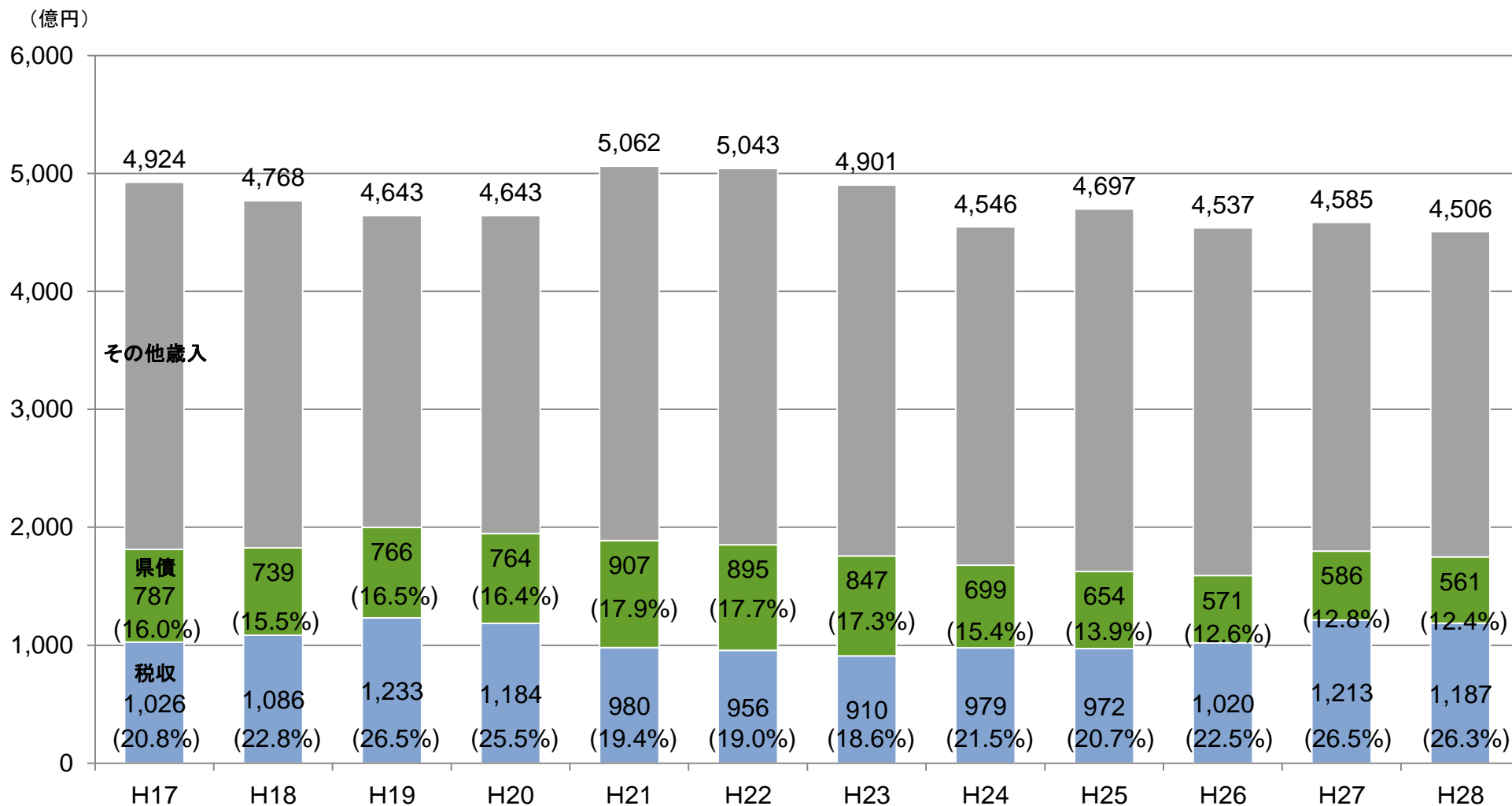
法人二税 58億円	核燃料税 89億円	電源三法交付金 179億円
--------------	--------------	------------------

県債の主なもの ()内は昨年度比

- ・公共 126億円(Δ12億円)
- ・北陸新幹線建設 168億円(+80億円)
- ・臨時財政対策債 211億円(+8億円)

(5) 福井県普通会計歳入決算の推移

- 核燃料税の見直しや企業立地の促進を図り、県税等一般財源による安定的な歳入確保の努力を継続

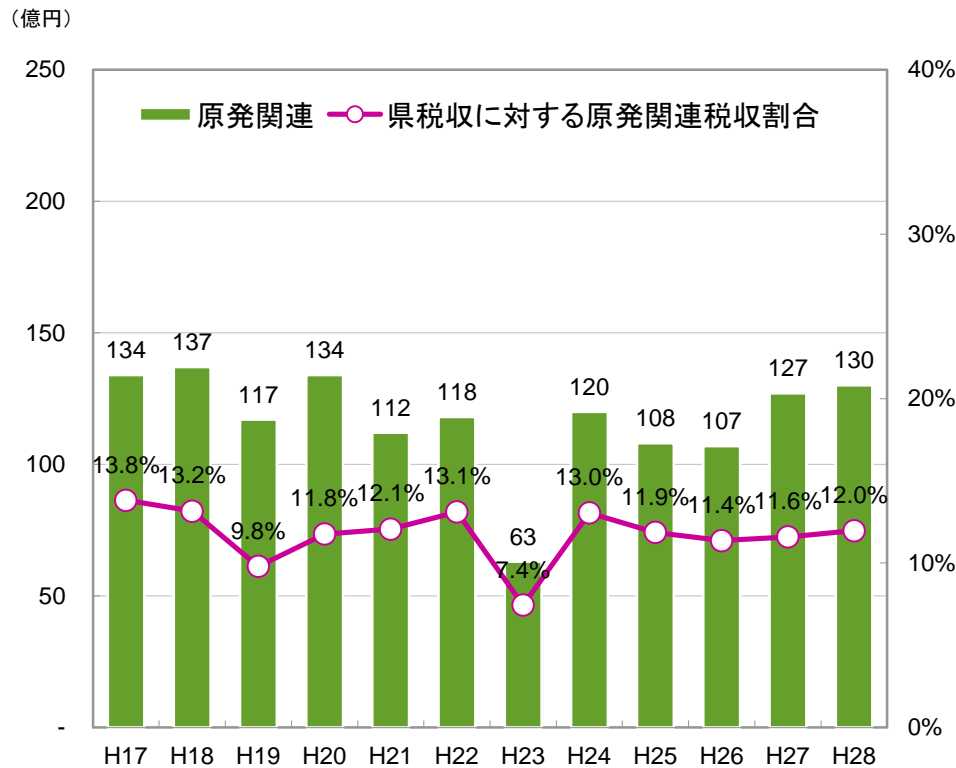


()内は歳入に占める割合

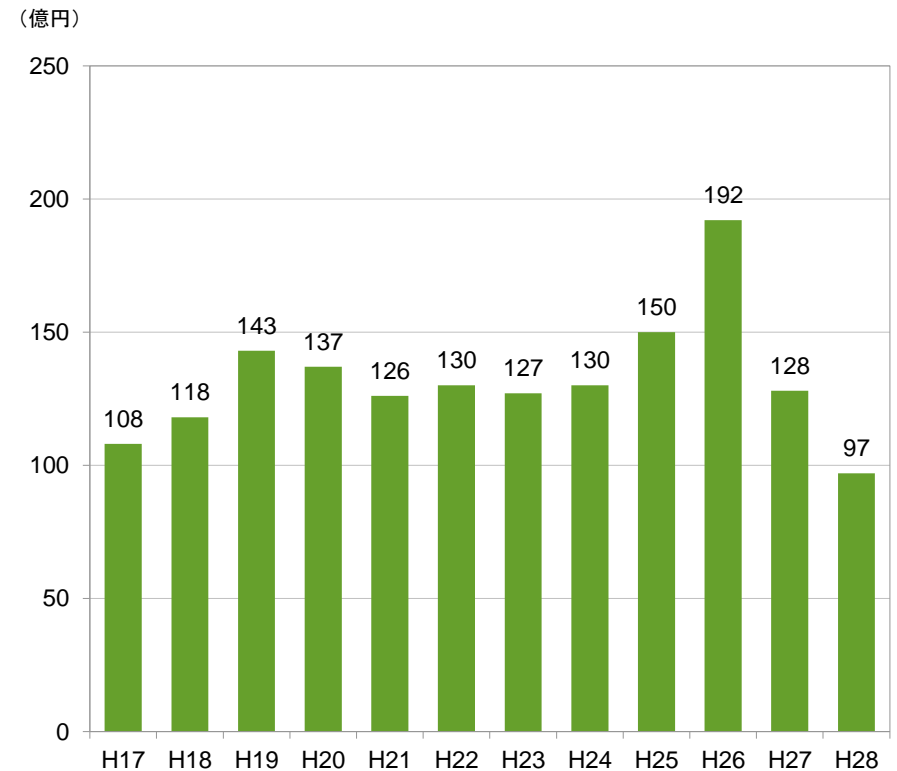
(6) 原子力発電関連税収等の推移

➤ 東日本大震災の影響に伴う原子力発電所停止以降も安定的に推移

福井県の原発関連税収額



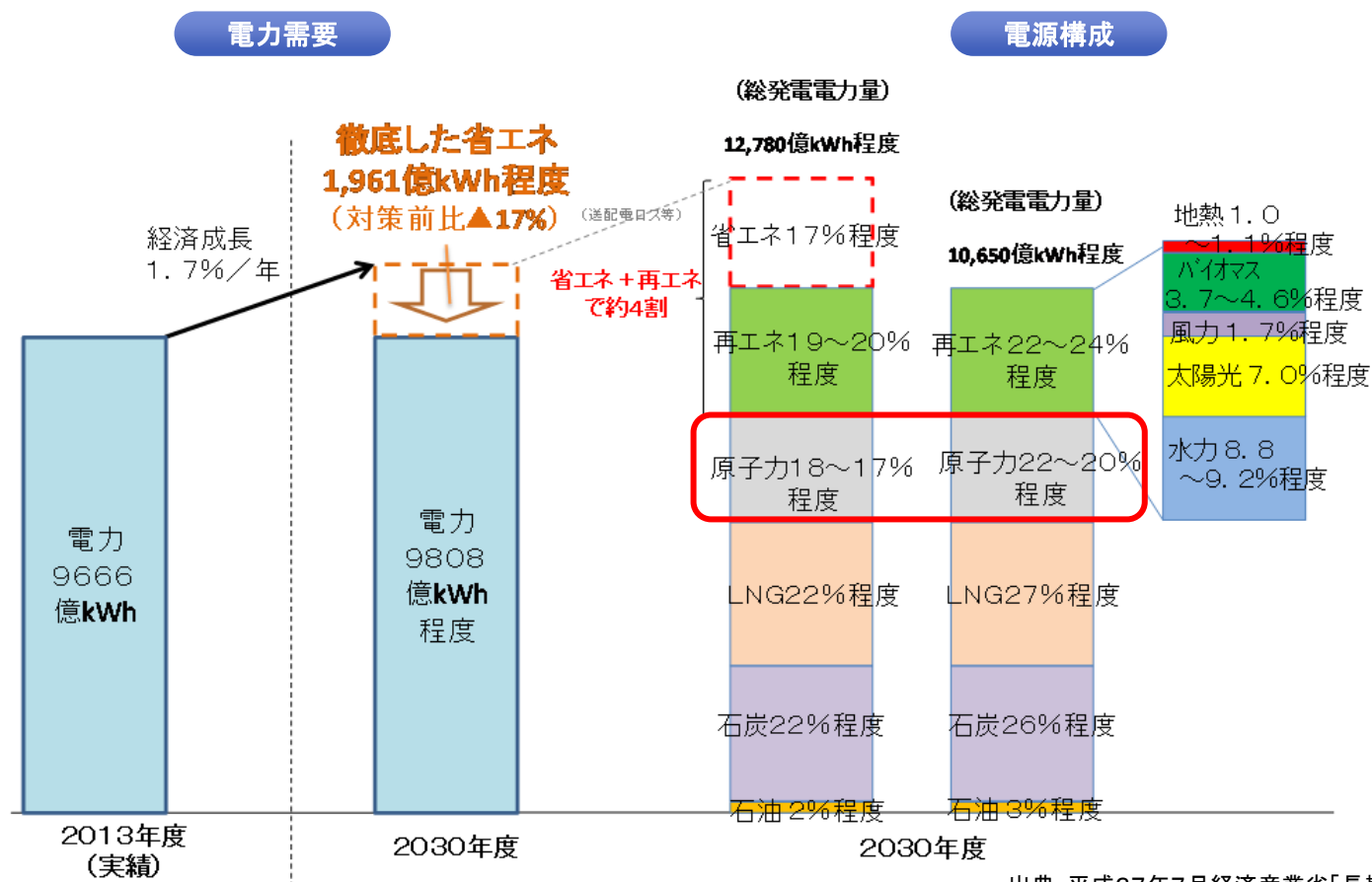
電源三法交付金の交付額



(7) 原子力発電に関する国の方針

▶ 長期的、安定的に原子力発電が活用される見通し

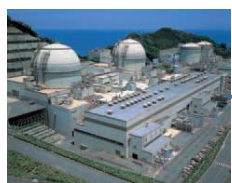
- 2030年度の電源構成において、原子力の割合を20～22%程度確保することを決定(2015年7月)



出典:平成27年7月経済産業省「長期エネルギー需給見通し」

(8) 原子力発電に関する福井県の現状

- 5月17日に高浜4号機が再稼働、6月6日には同3号機が再稼働
- 大飯3・4号機の年度内再稼働に向けて事業者において準備中



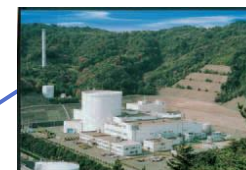
関西電力(株)
大飯発電所

1号機	1,175千kw	定検中
2号機	1,175千kw	定検中
3号機	1,180千kw	定検中
4号機	1,180千kw	定検中



(独)日本原子力研究開発機構
高速増殖炉もんじゅ

もんじゅ	280千kw	停止中
------	--------	-----



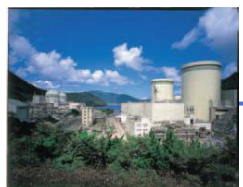
(独)日本原子力研究開発機構
ふげん

ふげん	165千kw	廃止措置中
-----	--------	-------



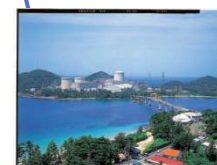
日本原子力発電(株)
敦賀発電所

1号機	357千kw	廃止措置中
2号機	1,160千kw	定検中



関西電力(株)
高浜発電所

1号機	826千kw	定検中
2号機	826千kw	定検中
3号機	870千kw	運転中
4号機	870千kw	運転中



関西電力(株)
美浜発電所

1号機	340千kw	廃止措置中
2号機	500千kw	廃止措置中
3号機	826千kw	定検中

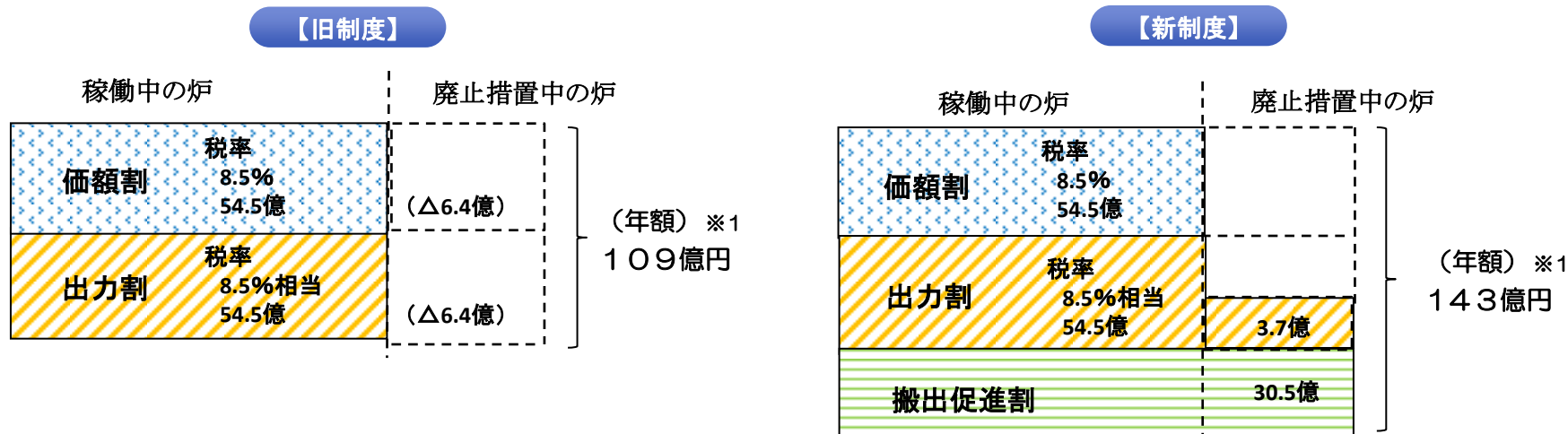
(9) 核燃料税の見直し

1 制度見直しの趣旨

- 運転中はもとより、停止中・廃炉作業中においても引き続き安全対策が必要なため、持続的な税収確保が必要
- 原子力発電所が集中立地する本県の使用済燃料貯蔵量は全国の4分の1を占めるため、使用済燃料の県内での貯蔵が常態化しないようにする仕組みが必要

2 見直しの概要(課税期間 平成28年11月10日~)

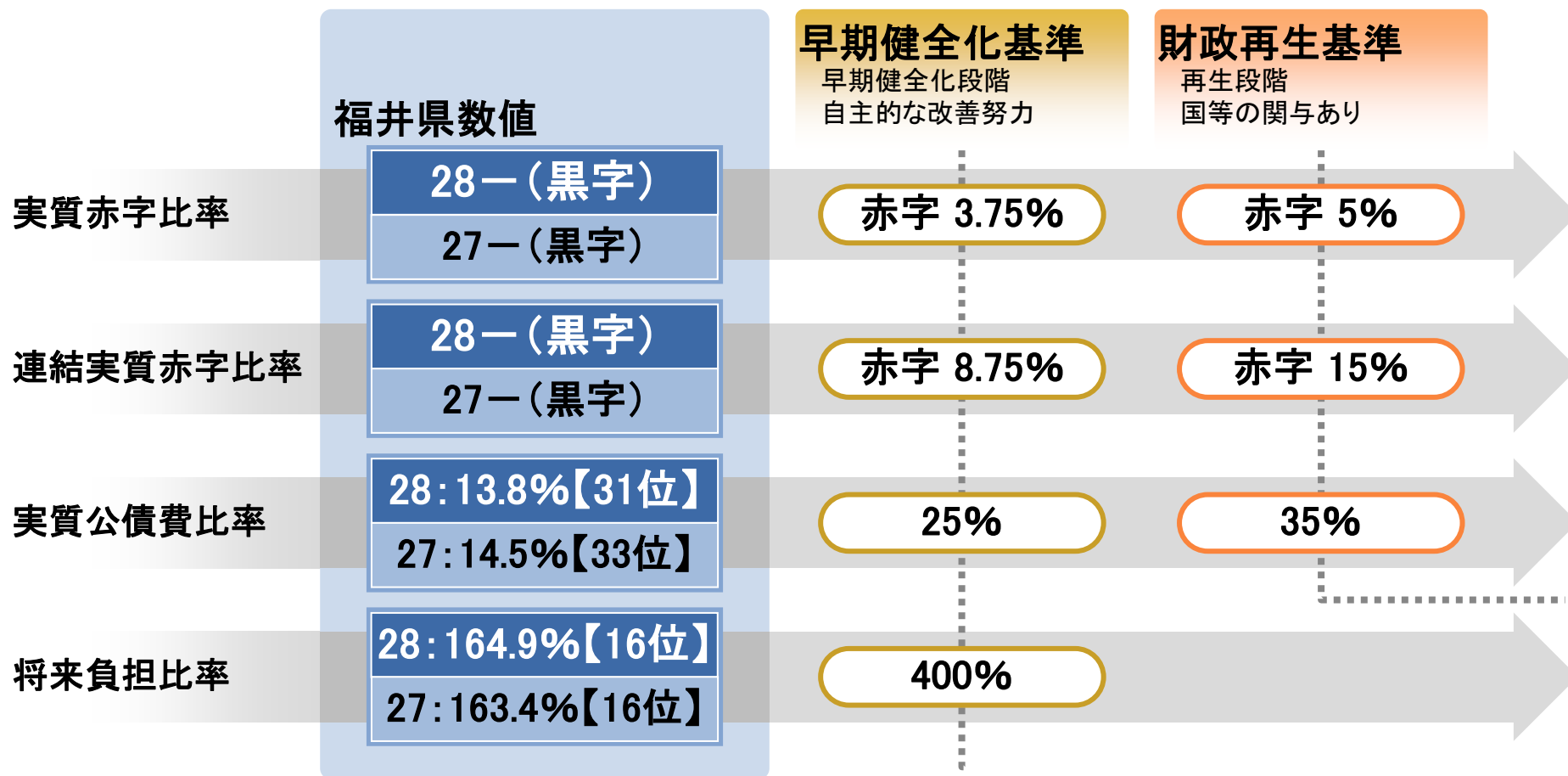
- 廃止措置中も出力割を課税 (廃止措置計画認可後は1/2)
- 搬出促進割を新設 (5年を超えて貯蔵されている使用済燃料の重量に課税 課税単価1,000円/kg)
- 新制度に基づき、年間約30億円の税収増が見込まれる。



※1 すべての原子力発電所が稼働した場合の計画額

※2 28年6月の福井県議会において改正条例案が可決。総務省の同意を得て、28年11月より施行

(10) 財政健全化法における財政指標



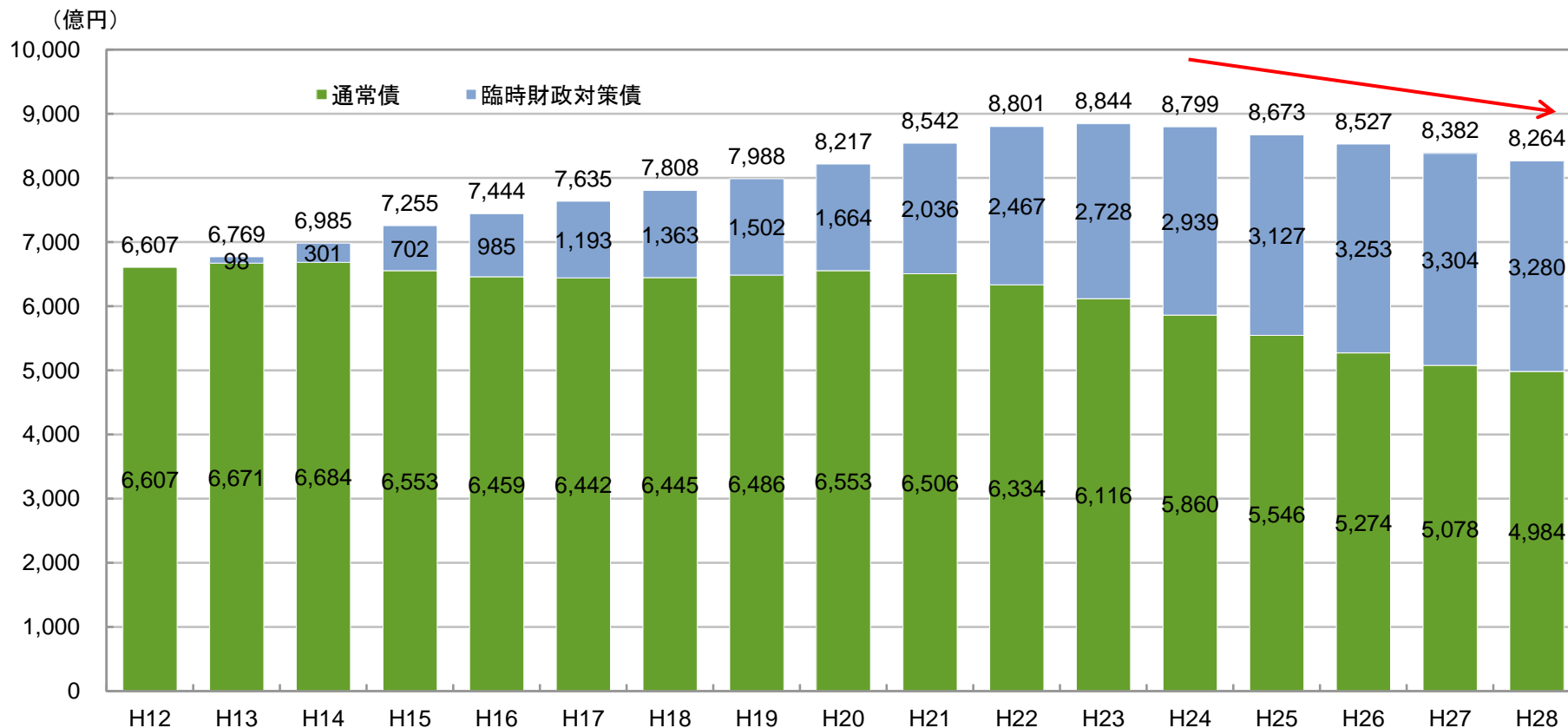
27: 平成27年度決算 28: 平成28年度決算

【 】内は全国順位(28年度順位は暫定)

(11) 地方債残高の状況

➤ 県債残高については、23年度をピークに減少

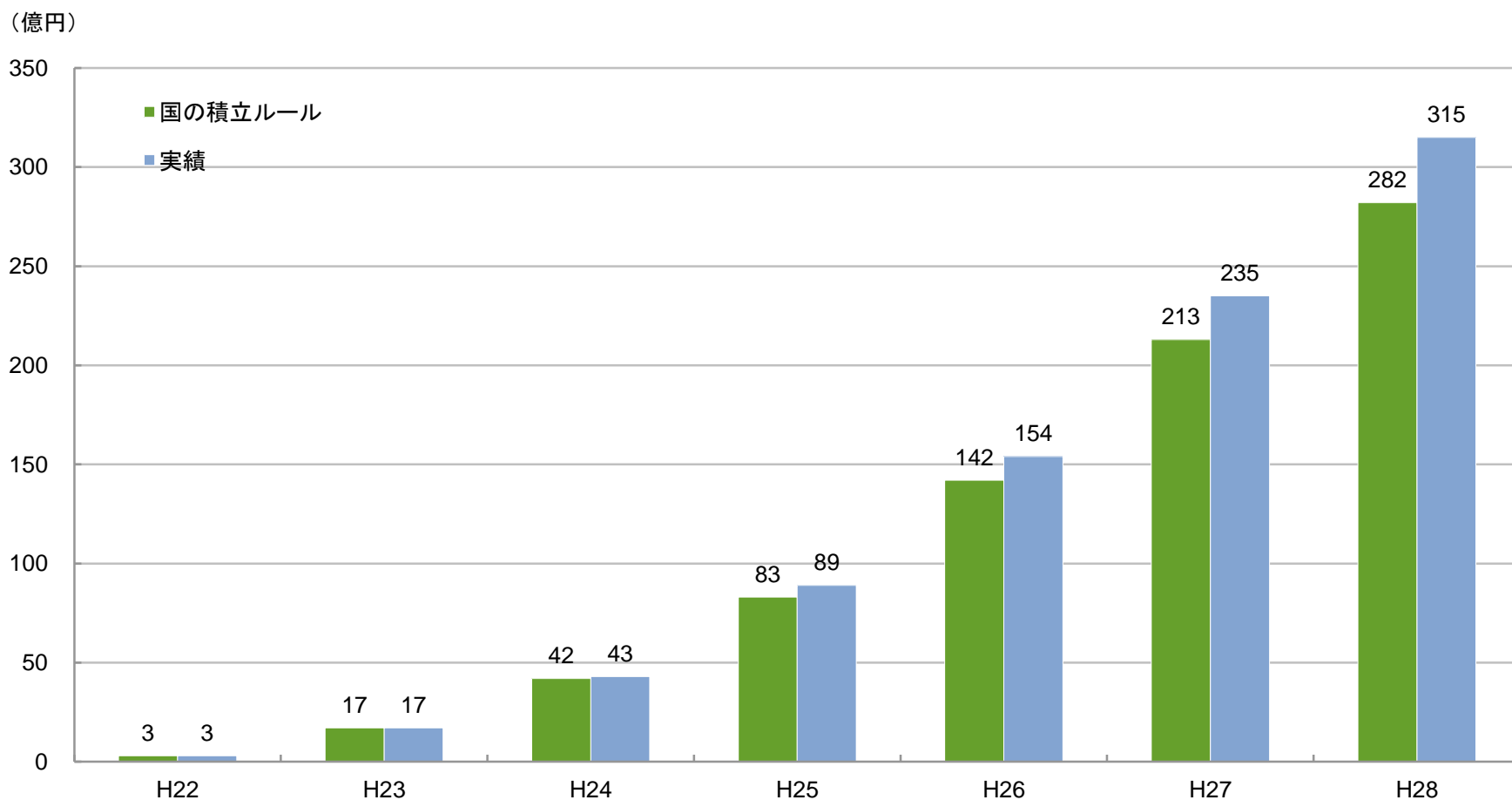
- 今後、中長期に予定している新幹線建設に備えるため、人件費の抑制や公共事業の重点化等により、通常債の発行を抑制し、引き続き県債残高の減少に努めます。



※ 臨時財政対策債 地方全体の財源不足を補うために発行される起債。後年度、償還金相当額の全額について交付税措置。
 ※満期一括償還地方債の減債基金積立額は地方債残高より控除している。

(12) 減債基金への積み立て状況

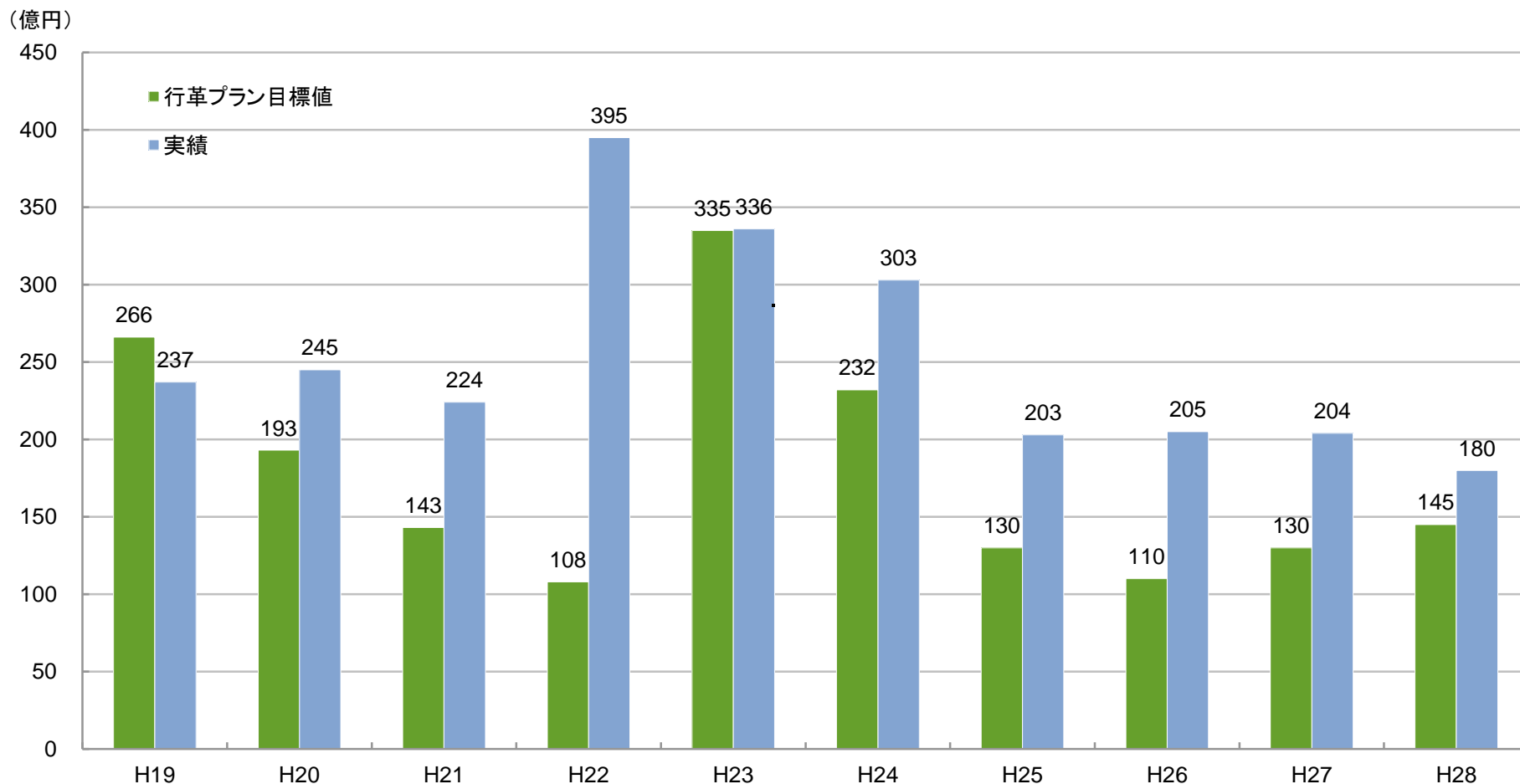
- 地方債の満期一括償還に備え、計画的に減債基金を積み立てています。



※国の積立ルールに基づき、発行額の1/30ずつを発行の翌年度から積み立てるものとして計算したもの。

(13) 財政調整基金等の残高

- 「財政調整3基金」は、行革プランを上回って積み立てています。



※「財政調整3基金」とは、財政調整基金、県債管理基金、地域振興基金をいい、いずれも年度間の財源調整が可能な基金。

※ プラン目標値について、H20～H22は新行財政改革実行プラン、H23～H27は第3次行財政改革実行プラン、H28は第4次行財政改革実行プランの目標値を示す。

※ 県債管理基金について、満期一括償還債の積立額は除く。

(14) 企業会計等の財政状況

- 企業会計等において資金不足は生じていません。

(百万円)

収益的収支	平成27年度				平成28年度			
	収入	支出	差引	資金剰余額	収入	支出	差引	資金剰余額
病院	22,615	23,182	△567	10,075	23,669	24,198	△529	10,069
工業用地等造成	70	56	14	4,271	30	0	30	5,035
工業用水道	741	567	174	1,940	732	579	153	1,954
水道用水	3,489	2,690	799	10,259	3,440	2,642	798	10,697
臨海下水道	1,057	869	188	2,355	1,041	851	190	2,413
港湾事業	488	486	2	39	452	448	4	39
下水道事業	954	921	33	1,165	940	844	96	1,169

(15) 出資団体の改革状況

- ふくい農林水産支援センター(林業部門)を25年度末に県営化
- 土地開発公社、住宅供給公社を22年度末に解散

(百万円)

	ふくい農林水産支援センター			道路公社			土地開発公社	住宅供給公社
	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H22	H22
当期損益	△2	△9	△7	△47	△37	△42	△2,232	△454
正味財産	1,001	991	984	△823	△861	△903	117	15
債務保証 損失補償	3	2	1	0	0	0	0	0
対応状況	林業部門について 平成25年度末に県営化			34年9月末に解散を検討			22年度末に 解散	22年度末に 解散

4. 行財政改革の実施

(1) 第四次行財政改革実行プラン

推進期間：平成27年度～30年度

次の基本理念に基づき、行財政改革を効果的に推進します

I 人材改革

職員自身が互いによく勉強し、業務の習熟度や専門性を高めるとともに、多様な発想を持つ、突破力のある人材となるため、新たな仕組みを取り入れ、「人材力」を向上します。

II 業務改革

共通の課題に対し、大学や市町と力を合わせて政策を進めるとともに、ICT技術の活用、人のつながりを活かした最新情報の収集・発信等により、県民の視点に立った行政サービスや新政策を推進します。

III 組織・財政改革

限られた人員、予算を再配分し、全国最少水準にある職員数や健全な財政運営を維持しながら、福井の良さを活かす政策に資源(職員、予算)を投入します。

(2) 第四次行財政改革実行プランにおける財政指標の目標

地方財政健全化法に基づく健全化基準の維持

- 将来負担比率は、現状の170%を超えない。
- 実質公債費比率は、自主的な県債発行が可能となる18%を下回る水準を維持。

県債残高の削減

- 平成27年度から平成30年度までに、臨時財政対策債を除く県債残高を約300億円減少。

財政調整のための基金残高の確保

- 平成28年度当初予算時点の財政調整基金残高約130億円を確保。

(3) 第三次行財政改革実行プラン(H23~H27)の成果

中長期財政計画に基づき
プラン目標をクリア
()内はプラン目標

■ 県債残高

H22末 6,338億円 → H26末 5,274億円(5,300億円)

■ 基金残高

H22末 395億円 → H26末 205億円(110億円)

歳出の合理化

■ 事務事業見直しにより、各年約22~30億円の歳出を削減

■ クラウド活用を図るなど、システム運用経費を削減

H22 27.0億円 → H26 22.2億円(△4.8億円)

歳入の確保

■ 県税の徴収率向上

H23 96.9% → H25 97.3%

■ 多様な手法の歳入確保策を実施

滞納整理 約4~5億円/年(市町と共働)

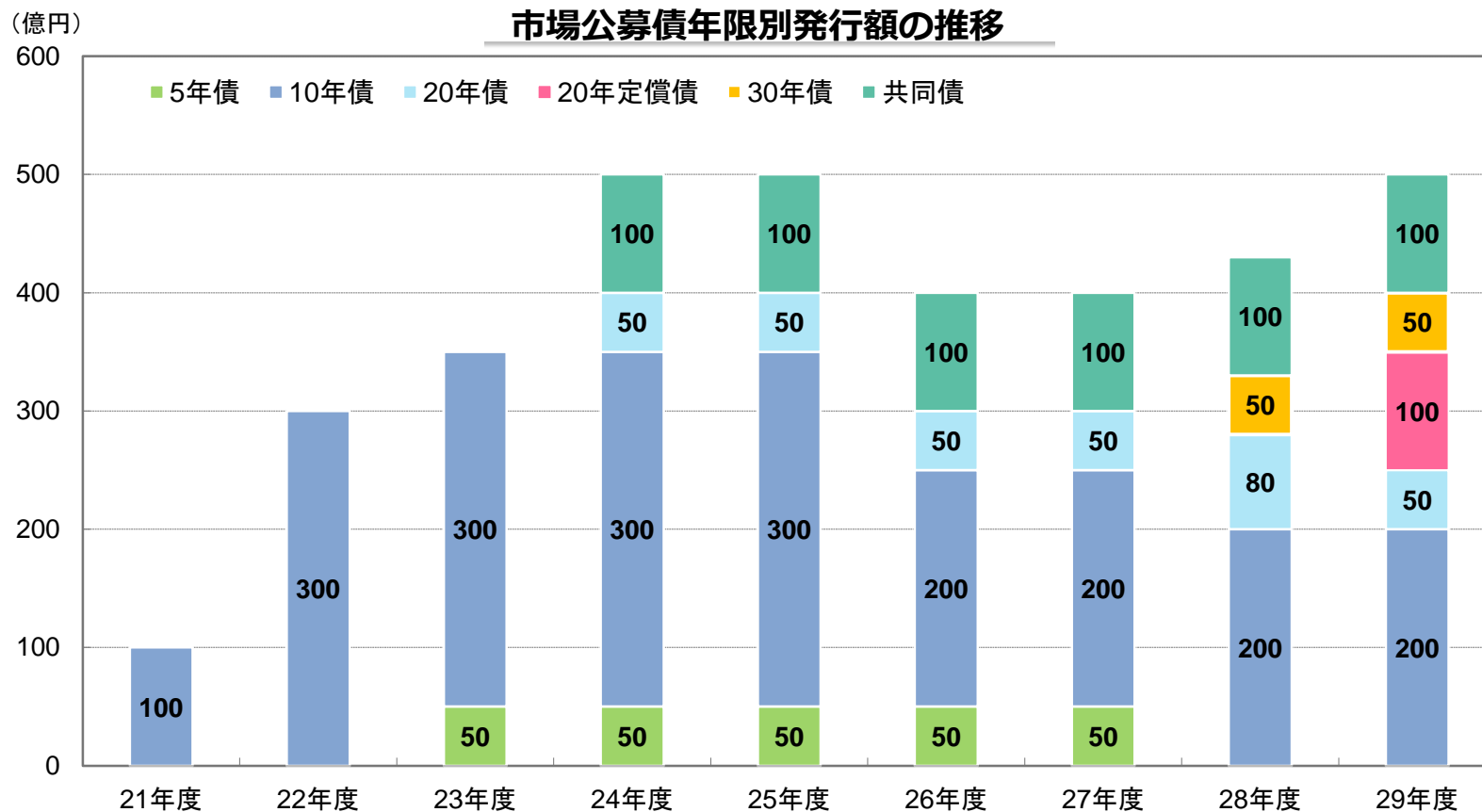
財産売却・貸付等 約1~2億円/年

ふるさと納税 約1億円/年 など

5. 福井県債のご紹介

(1) 市場公募債の発行状況

➤ 29年度は共同債と個別債合わせて500億円を発行予定



※平成21年度から市場公募債を発行

	(億円)								
市場公募債	100	300	350	500	500	400	400	430	500
縁故債	599	256	441	302	216	419	352	388	428
合計	699	556	791	802	716	819	752	818	928

※市場公募債、縁故債とも借換債含みの額、29年度は当初予算ベース

(2) 平成29年度の市場公募債発行計画

- 7月に20年債、30年債の同時起債を初めて実施
- 11月に20年定時償還債を初めて発行

平成29年度市場公募債発行計画

	平成29年度債													(億円) 計	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	未定		
共同債	20			20		20				40					100
個別債 10年債					100						100				200
個別債 フレックス		100						100 (20年定償)							200
計	20	100		20	100	120				40	100			500	

(3) 平成29年度市場公募債発行のご紹介

福井県は、今年度の市場公募債を以下の条件にて発行します。

第4回市場公募債

- 発行額 100億円
- 償還年限 20年(定時償還)
- 発行月 平成29年11月

第5回市場公募債

- 発行額 100億円
- 償還年限 10年(満期一括)
- 発行予定月 平成30年4月

福井県債への投資を検討いただく参考資料として、(株)格付投資情報センター(R&I)から以下のとおり発行体格付を取得

〈投資格付〉



AA

主な評価内容

- 高速ネットワークの整備が進んでおり、交通インフラの充実が企業立地や観光などの域内経済の活性化・多様化につながると期待できる。
- 西川知事の下、一連の行財政改革により財政健全化が進み、北陸新幹線など今後の投資負担を考慮しても財政悪化を回避することは可能だろう。

福井県の財政運営については適切な評価をいただいております、引き続き安定した償還を実施してまいります。みなさまには、安心して投資いただきたいと考えております。

福井県債に関するお問い合わせ先

- 福井県総務部財務企画課
- 住所 〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号
- TEL 0776-20-0233
- FAX 0776-20-0629
- E-mail : kisai@pref.fukui.lg.jp
- <http://www.pref.fukui.lg.jp/gyosei/gyozaisei/cat4309/index.html>

